

整備効果③

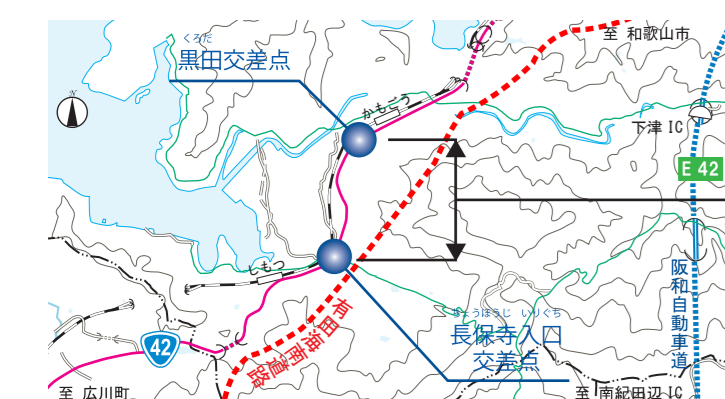
交通事故の減少

事業区間と並行する国道42号の死傷事故は追突が約7割を占めており、特に黒田交差点～長保寺入口交差点で事故が多く、死傷事故率は県内平均を上回っています。

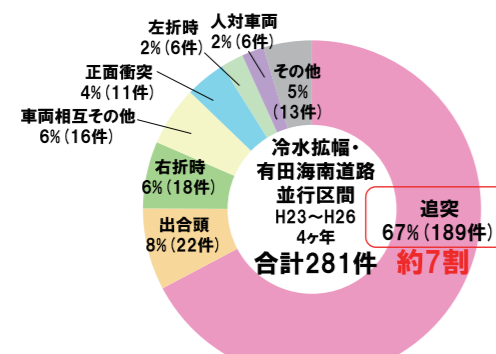
国道42号の交通量が有田海南道路へ転換することで、現道の交通量が減少するとともに、線形の良い有田海南道路では安全で快適な走行が可能となるため、交通事故減少が期待されています。

※1億台の車が1km走行した場合に発生する死傷事故件数

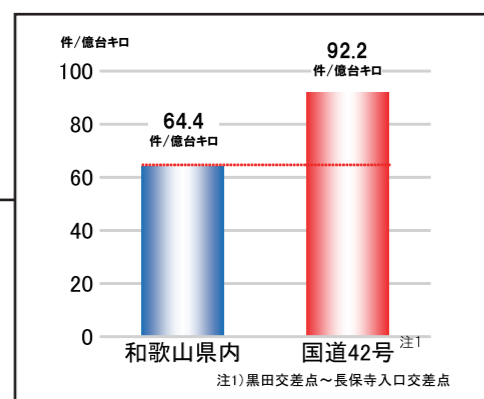
●国道42号の死傷事故率



●国道42号死傷事故の事故類型



出典：交通事故統計データベース（H23～H26）



出典：交通事故統計データベース（H23～H26）

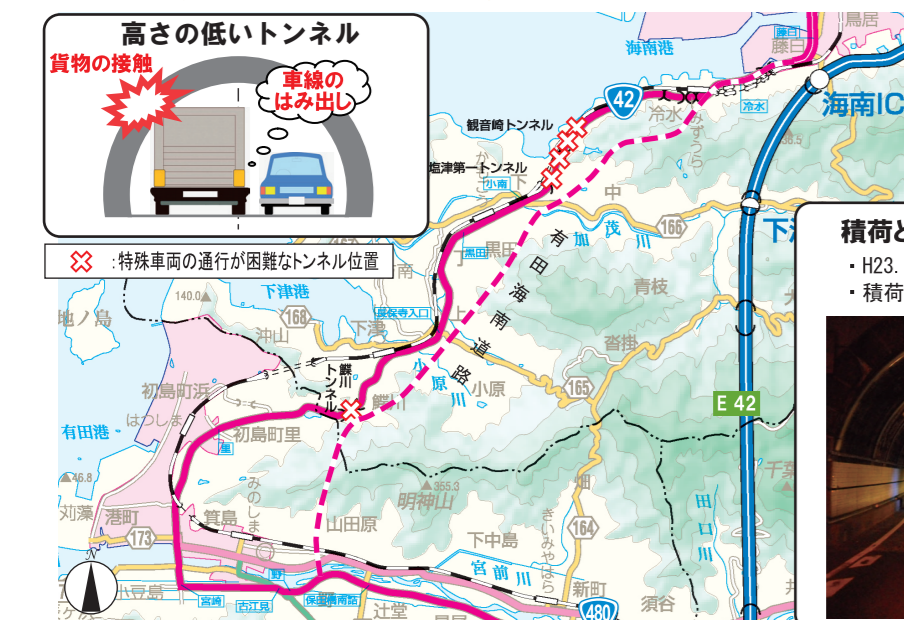
整備効果④

通行車両制限区間の解除

国道42号は、高さ3.8mを超える車両の通行が困難なトンネルが5箇所あり、トンネルと積荷が接触する事故も発生しています。

有田海南道路の整備により、高さ3.8mを超えるコンテナ車や大型貨物の特殊車両が通行可能となり、物流支援が期待されます。

●高さ3.8m以上の特殊車両の通行が困難なトンネル位置図

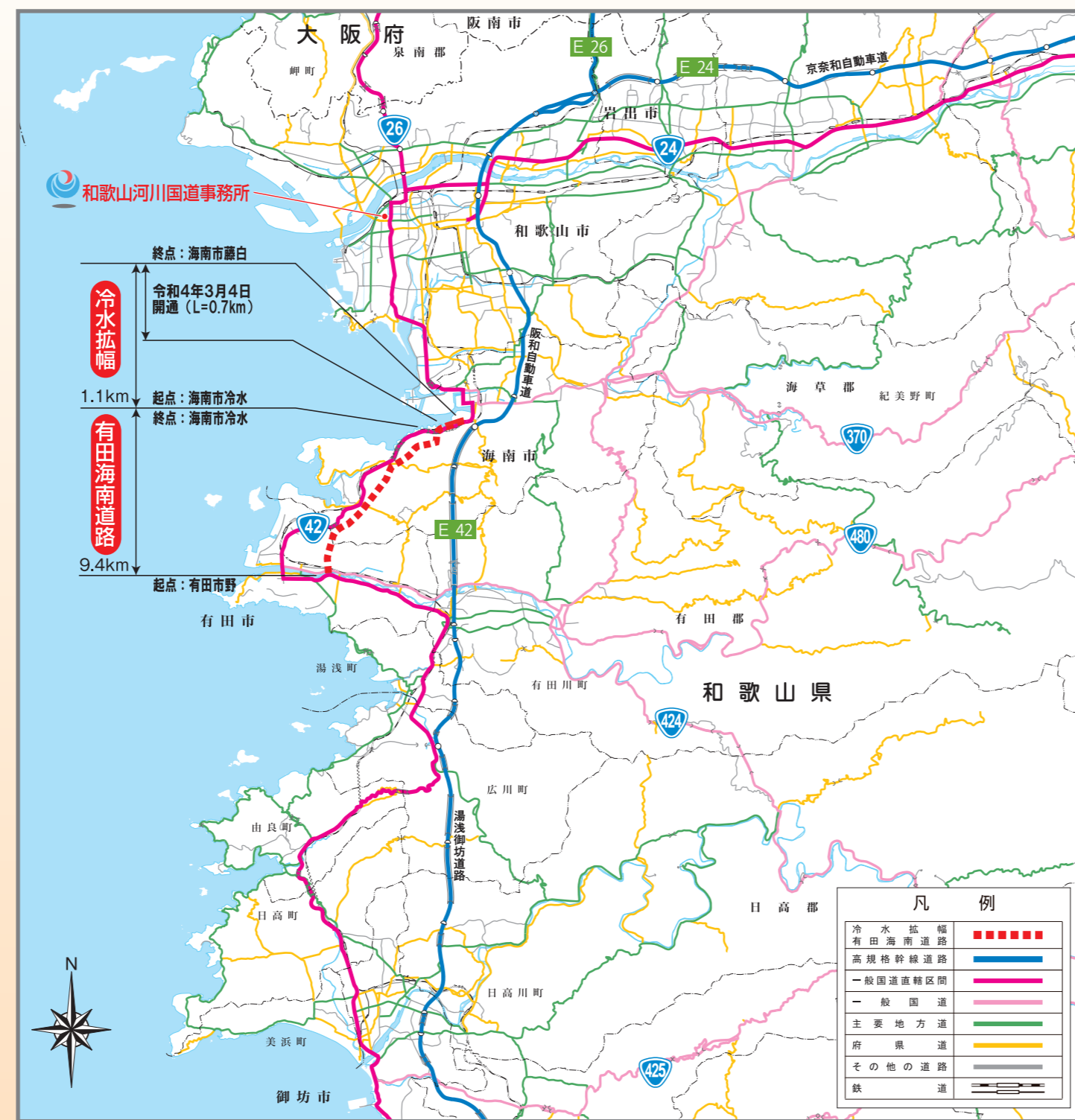


積荷とトンネルの接触事故の発生

- ・H23.9.13(火) 22:15頃発生
- ・積荷が接触し、約3時間通行止



冷水拡幅・有田海南道路の位置図



国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所

道路の異状を発見したら 道路緊急ダイヤル #9910 無料 24時間受付

和歌山河川国道事務所ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/wakayama/>

和歌山河川国道事務所Twitter @Mlit_Wakayama

〒640-8227 和歌山市西汀丁 16番 TEL (073) 424-2471 (代表)

※道路交通法により運転中の通話は禁止されています。安全な場所に停車しておかけ下さい。

冷水拡幅 有田海南道路



国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所

整備効果①

渋滞の解消及び所要時間の短縮

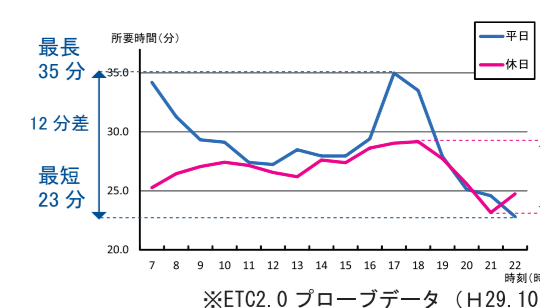
国道42号は、平日朝夕の通勤ピーク時間帯、ゴールデンウィークやお盆休みなどの観光シーズンに、道路の処理能力以上に交通が集中し、大規模な渋滞が発生しています。

冷水拡幅、有田海南道路を整備することで、国道42号の交通処理能力が増加するため、渋滞の解消及び所要時間の短縮が期待されます。

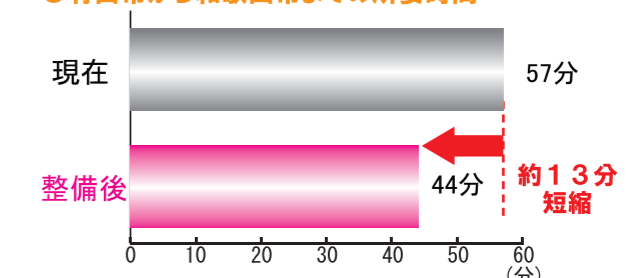
さらに、渋滞が解消することでピーク時とオフピーク時の所要時間のばらつきが小さくなり、到着時間などを見込みやすくなることが期待されます。

●時間帯別の平均所要時間

平日の有田市～海南市の所要時間は、渋滞の影響などにより最短と最長で約12分の差があります。有田海南道路、冷水拡幅の供用により、渋滞が解消し、所要時間のばらつきが小さくなること期待されます。



●有田市から和歌山市までの所要時間



●国道42号の渋滞状況



平日の長保寺入口交差点 和歌山市行き（北行き）H29.10.19撮影

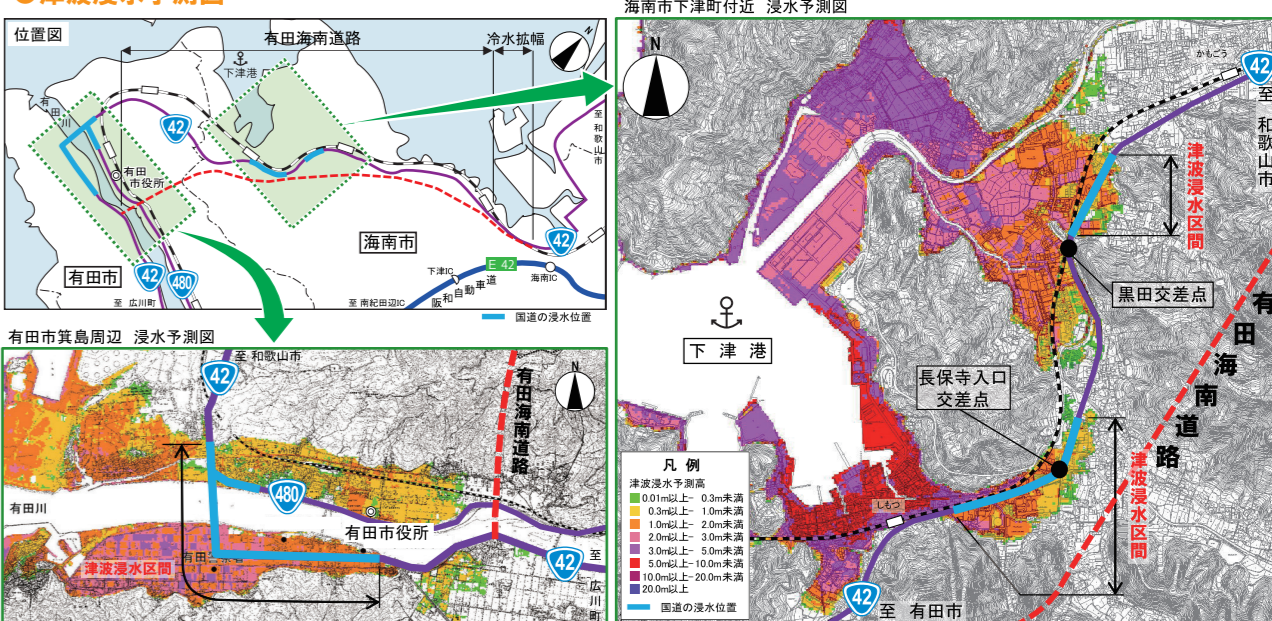
整備効果②

災害時の交通機能の確保

事業区間と並行する国道42号は南海トラフの巨大地震の発生時、津波による浸水の恐れがあります。冷水拡幅・有田海南道路の整備により、津波浸水地域を回避し、災害時の避難路となるとともに、緊急輸送道路*としてネットワークを形成します。

※地震等災害発生直後から発生する緊急輸送を円滑に行う道路をいう。

●津波浸水予測図



有田海南道路

国道42号有田海南道路は、有田市野～海南市冷水までの延長9.4kmの事業です。現道の国道42号は、朝夕ピーク時や休日には大規模な渋滞が発生しています。また、沿線には小学校や中学校が立地し、通学路としての利用もある中で、追突をはじめとする交通事故が多発しています。さらには、近い将来発生も予想されている南海トラフ巨大地震が発生した場合、津波により浸水し、道路が寸断されると予測されており、これらの課題を解決するため、バイパス事業を行っています。

計画諸元

- 路線名：国道42号有田海南道路
- 区間：自) 有田市野 至) 海南市冷水
- 延長：9.4km
- 構造規格：第3種第2級
- 設計速度：60km/h
- 車線数：2車線

事業の経過

- 平成20年3月：都市計画決定
- 平成20年度：事業着手
- 平成27年度：工事着手

冷水拡幅

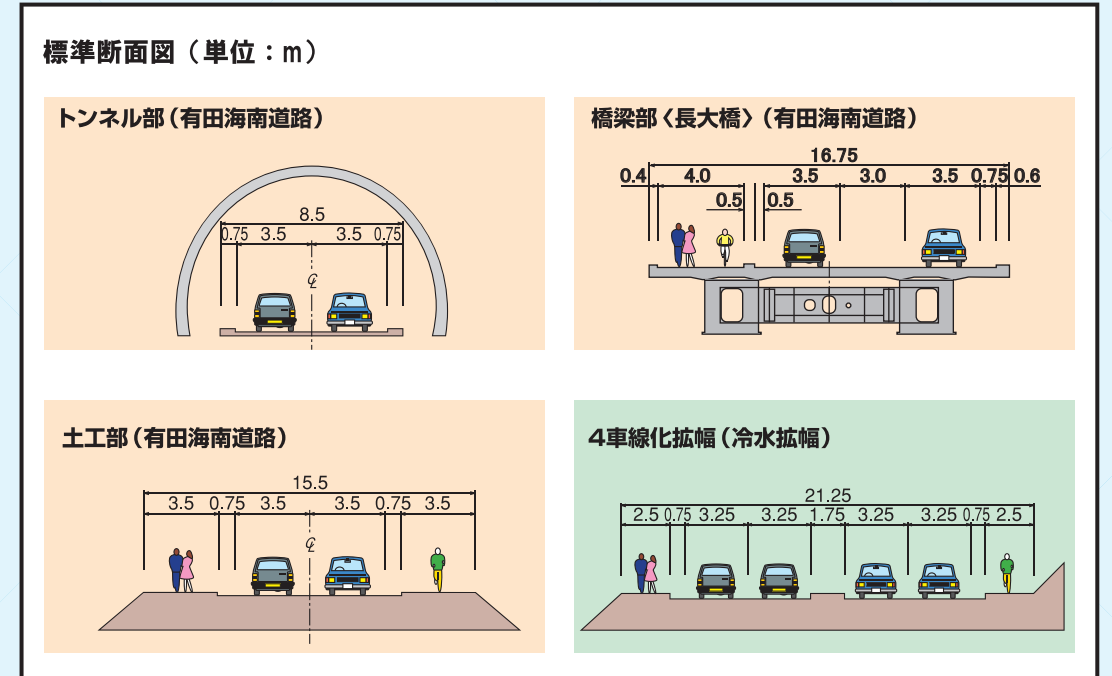
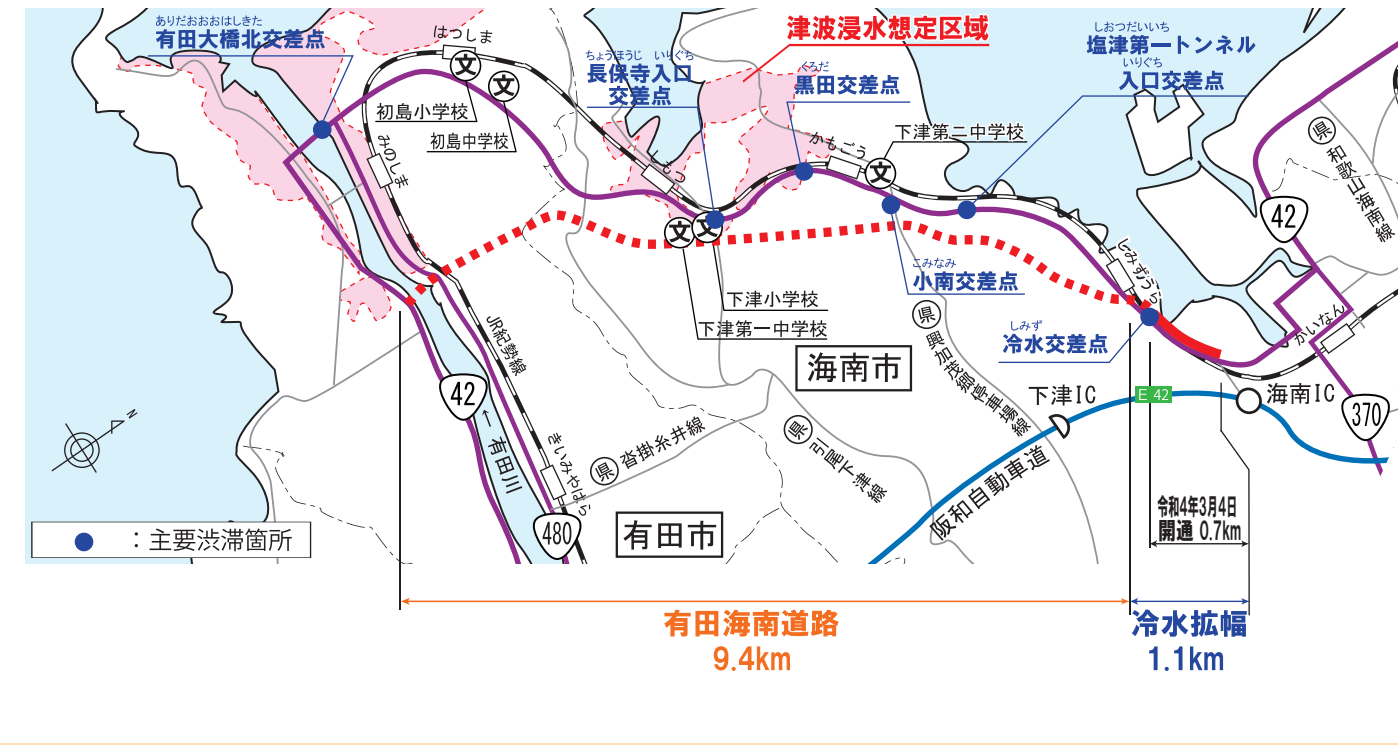
国道42号冷水拡幅は、有田海南道路と接続する海南市冷水～海南市藤白までの延長1.1kmの現道拡幅事業です。本事業区間は、阪和自動車道海南ICとの合流区間において4車線から2車線へ車線数が減少しているため、朝夕ピーク時や休日には大規模な渋滞が発生しており、これらの課題を解決するため、現道拡幅事業を行っています。

計画諸元

- 路線名：国道42号冷水拡幅
- 区間：自) 海南市冷水 至) 海南市藤白
- 延長：1.1km
- 構造規格：第3種第2級
- 設計速度：60km/h
- 車線数：4車線

事業の経過

- 平成19年度：事業着手
- 平成20年3月：都市計画決定
- 平成23年度：工事着手
- 令和4年3月：海南市冷水～藤白4車線開通 0.7km



凡例	
有田海南道路・冷水拡幅	第一種低層住居専用地域
高規格幹線道路	第一種中高層住居専用地域
国道	第一種住居地域
県道	第二種住居地域
都市計画道路	近隣商業地域
H27年度道路交通量調査	準工業地域
	工業地域
	工業専用地域
平日12時間(台)	
平日24時間(台)	
※()は種別	

この図面は、国土機関長の承認を得て、同図発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平29 国保 第1819号) 承認を得て作成した地形図を第三者が複製する場合には、国土機関長の承認を得なければならない。